ＡＡ日本ニューズレター No.216

■2024年3月を以って常任理事会メンバー5名(*1)が任期を終え、4月より新しいメンバーが加わります。

(*1)A類常任理事1名、B類常任理事3名、WSM評議員 1 名

＊－＋－

■A 類常任理事としての 2 年間を振り返って

A類常任理事　真栄里　仁

今回退任することになりました A 類常任理事の真栄里です。就任前の挨拶で初めて JSO に伺った時、不安と緊張で JSO のある土屋ビルの前で一瞬躊躇したことは2年経った今でも鮮明に覚えています。あの時の気持ちはアルコホーリクが最初にミーティングに行くときの逡巡に近いものがあったかもしれません。そのように始まった A 類常任理事の日々でしたが、最初は AA の基本的な用語も知らなくて、周囲の方々に「グループの良心って、グループの偉い人の意見？」、「ラウンドアップってボウリング場みたい」など頓珍漢なことばかり言っていました。

＊－＋－

普通なら浮いてしまってもおかしくなかったと思いますが、スタッフの皆さんや理事の方々、そして全国各地の AA メンバーの皆様が辛抱強く AA のイロハを教えてもらい少しはサービスのことが理解できるようになりました。また最初に理事会に参加したときに“先生”ではなく“真栄里さん”や“真栄里理事”と呼ぶようお願いし、その後は、そのようにしてもらいましたが、お陰様で“先生”という袴を脱げて素の自分で過ごすことが出来ました。本当にありがとうございます。一方でこの2年間は A 類理事という特権を生かして、ノン・アルコホーリクであってもクローズド・ミーティングにも参加できる特別な期間でしたが、理事在任中にも自分の怠慢でミーティングにあまり参加できなかったことを今となってはとても後悔しています。

ところで AA にとってのこの2年間は、新型コロナウィルス感染の波に何度も襲われ、会場でのミーティング開催に支障を来すようになり、理事会や GS フォーラム、更には評議会も対面形式では困難になるなど苦難の時期でした。しかしオンラインミーティングの普及や海外との交流の活発化など、新たな取り組みが大きく広がった飛躍の時期でもありました。IT 音痴な一中年男性の私としては、テック委員会をはじめとする皆さんが様々な障害を乗り越え、新たな AA を創造していく姿勢と行動力には感服させられました。もちろんオンラインだけでなく、2023 年 2 月の評議会、12 月の沖縄での矯正フォーラムなど、理事やメンバーの皆さんに実際にお会いして、生の声を聴くことが出来たことも大きな財産です。特に評議会後にみんなで近くのスーパーまでアイスクリームを食べに行き、とりとめのないお話をしながら過ごした不思議で幸せな時間は忘れられない思い出です。

そのような忙しくも楽しい2年間でしたが、昨年6月に神奈川から沖縄に引っ越し、仕事内容も大きく変わったこともあり、物理的に理事としての活動が困難となったため、3期6年の予定が、1期2年で退任させていただくこととなりました。

他の理事の皆さんやスタッフにはご迷惑をおかけすることになり本当にすみません。でもこれからは、今更ながらですが AA の友人の一人として、オープンでのミーティングやイベントに参加していきたいと思いますので、今後もよろしくお願いします。

■AA が好きな仲間たちとの出会いに恵まれたからと思っています

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

B 類常任理事（広報・病設担当）　長澤

2020 年に常任理事に就任してから 2024 年の今まで、評議会は 2023 年の一度、常任理事会も 2023 年 4 月期の一度だけがリアル開催となり、それ以外はすべてオンライン開催となりました。

新型コロナウィルスによるパンデミックが世界を覆いつくし、日本の AA もミーティング場の減少やメッセージ・広報先の停止等、決して少なくはない影響を受けました。

それでもメンバーがくじけていた（？）のは初めの頃だけであり、オンラインによるミーティング、オンラインによる委員会、メッセージ、広報活動と、リアルでの活動を超えるほどの熱量で、様々な分かち合いが四角い画面の中から発信されていったのです。

広報担当理事としては、変わっていく広報活動に向けて、各メンバー・委員会が時代の流れに沿った広報を進めていくために必要な資料作りを行って来ました。オンラインで使用する常任理事会パワーポイントの精査・変更から始まり、3 年ごとに行われるメンバーシップサーベィの作製、評議会勧告事項である YouTube 用動画と広報用動画の作製を、所属している第 2 分科会の皆さんや理事会委員会メンバーの皆さん、JSO の職員の方々の力を借りて進めてきました。残念ながら日本版広報用動画の作製は中断していますが、再開した場合には早目に取りかかれるよう準備をしています。

2021 年から開催された「ゼネラルサービスフォーラム」は、いろいろな気づきと感動を私たちに与えてくれたと思います。

最初に行われた「西日本圏ゼネラルサービスフォーラム」は、コロナ禍の中でフルオンラインでの開催となりましたが、東日本圏はリアル会場と全国をオンラインでつなげての開催となり、翌年の関東甲信越圏ゼネラルサービスフォーラムへとつながっていきます。

私は 3 回とも理事としての参加でしたが、東日本圏では全体チェアマンをさせていただき、たくさんの仲間たちとの分かち合いを経験することができました。『サービスは楽しんでやるもの』とはよく言われますが、それを実感できたフォーラムでした。関わってくれた皆様に感謝します。2024 年は開催されませんが、来年以降、回を重ねていけば新しい仲間たちの参加も増えていくものと思います。

常任理事に選出された時から退任まで、時間のたつのは早いものだと感じるとともに、このような充実した濃い時間を過ごすことができたのは、AA が好きな仲間たちとの出会いに恵まれたからと思っています。本当にありがとうございました。そして多くの仲間たちがこの魅力的な役割を経験してくれることを望んでいます。

■私はこの青い背表紙の本に出合った。これで生きていける

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

B 類常任理事（出版担当） 小谷

2021年告知された全国選出 B 類常任理事の補充選挙に立候補し第27回 AA 日本全国評議会で信任を受け評議会終了後理事に就任させて頂きました。3月31日で任期が終わりますので2年一ヶ月半という通常任期の半分です。常任理事会で担当の希望を問われ躊躇なく出版を担当させて頂きたいと申し出て了解して頂きました。

ゼネラル（普遍的な）サービスの根幹は書籍の発行であると亡きスポンサーに教えて貰いました。出版事業の最終的責任を常任理事会メンバーとして担う事に為りその重さを常に感じながらも様々な事を教えて頂きながらの2年余りでした。出版に関する勧告事項の執行、英語版の変更にともなっての日本語改訂版の発行、在庫管理に拠る増刷等々。

しかし、最重要課題はおよそ十年に渡って行われてきたビッグブックの日本語改訂版第4版の発行に向けた最終的な取り組みでした。私の理事活動のほとんどの時間とエネルギーを費やして来ました。

第29回 AA 日本全国評議会で改訂版第4版の承認・発行する議案が満票で勧告され名実ともに評議会承認出版物として発行されます。私は何をしたか考えると心もとない気がします。リーダーシップと言う点では失格だったようです。只理事会委員会を開いただけで出版委員会、BB 再編委員会の各委員、出版局（ボランティアの皆様も）の皆さまが知恵と力を出して下さったのです。

任期中は常任理事会で各担当理事の勧告事項に対する進捗報告・活動報告を聞き理事会活動全般の動きを把握して承認し決議して常任理事会の目的、方向性、重要性を確認して来ました。

逆三角形の評議会機構の一番下に位置する事の意味と重みを味わう事が出来ました。

私が初めて「アルコホーリクス・アノニマス（通称ビッグブック）」を手にしたのは2007年の正月、精神科病院に入院している時でした。退院していく仲間が「私はこの青い背表紙の本に出合った。これで生きていける」。そう言って颯爽と退院して行ったのです。それで私も院内に有ったビッグブックを読みました。今、記憶は定かではないのですが「ビルの物語」を読んでどうして私の有り様がここに書いてあるのかと驚きを覚えた事だけは覚えています。未だ AA のプログラムを知らされず苦しんでいるアルコホーリクのそしてアルコホーリクとして生まれてくるであろう未来の仲間の為にこの改訂版第4版ビッグブックが私にもそうであったように必ず役に立つと願っています。

最後になりましたが JSO スタッフの皆さま、理事会委員会の皆さま、ボランティアの皆さま、そして全ての AA メンバーに感謝を致します。有難うございました。

■プロセスの重要性、特に信頼とコミュニケーションの大切さ

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

B 類常任理事（議長・企画担当） 今井

2020 年 4 月コロナ禍で始まった 4 年間の任期が間もなく終わります。至らない点多々ありましたが覚悟をもって精いっぱい取り組めたことを嬉しく思います。任期を全うできるのも理事会構成メンバーや仲間の支えのお陰だと感謝申し上げます。これまで信頼と継続をテーマに取り組んできましたので、これから予定されている新たな理事へのオリエンテーションと役割の引継ぎ、そして理事会主催フォーラム「日本の AA を振り返るフォーラム」を含め最後まで全力で取り組んでいきたいと思います。

前期 2 年間は JSO 担当・評議会担当理事として、後期の 2 年は議長・企画担当理事として多くの仲間と共に活動し共同体に奉仕できたことを誇りに感じています。振り返ると数多くの出来事がありましたが、任期を通じて強く感じたことはプロセスの重要性、特に信頼とコミュニケーションの大切さです。コロナ禍の功罪は多々ありましたが様々な場面でオンラインによるコミュニケーションの効果を感じることができました。

理事会は全体の福利を考えながら貴重な献金を如何に有効に活用するか優先順位をつけ、原理と実行のバランスをとりながら活動しています。行動のエネルギーは皆さんからの信頼でした。理事会を支える JSO スタッフの皆さん、多くの常任理事会委員会のメンバーの皆さん、各種イベント実行委員会メンバーの皆さん、評議会事務局ボランティアの皆さん本当にありがとうございました。理事は任期で輪番していきますが、理事会委員会は方針を継続して活動していくと信じています。そして、ともに責任と時間と労力を全体の福利に捧げた常任理事会の皆さんには尊敬と感謝の念でいっぱ

いです。ほんとうにありがとうございました。

飲んでも飲んでも満ち足らず、飲まなくなっても満足できず貴うだけではだめだと AA プログラムの中で気付きました。先人たちの残してくれた3つの遺産であるステップ・伝統・概念という36の原理に感謝し、最後にいつも笑顔で支えてくれた家族に感謝して退任の挨拶とさせて頂きます。

■このような機会を与えていただいたことに心の奥から感謝

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

WSM 評議員（国際担当） グルーディ

私と日本の AA との関係は 1995 年頃に遡り、出張のたびに JSO を訪れ、山本幸恵さんと長い時間を共に過ごしていました。代議員としてサービスに従事していたあの頃、この 29 年間、みなさんが私にさせてくれたような豊かな AA の経験をすることになるとは夢にも思いませんでした。2019 年 2 月に来日したとき、私は北米常務理事会の任命委員としての 4 年間の任期を終えたところでした。そのレベルでの AA サービスは終わったと思い、もっとスポンサーシップをしたり、ホームグループを手伝ったりすることを楽しみにしていました。

2020 年から WSM 評議員を務める前に、私は 10 回の WSM と 9 回の AOSM で通訳の経験をしてきました。アメリカでの評議員や理事会経験と合わせて、この 4 年間、日本の共同体に何か貢献できればと思っていました。神はいつも私たちの足元にチャンスを与えてくださいますが、あの霊的道具箱のように、それを手に取り、活用するかどうかは私次第なのです。

この 4 年間は本当に素晴らしかったです。コロナ禍の影響で、WSM は 2 回ともオンラインで開催され、AOSM も 1 回はオンラインで、1 回はフィジーで開催されました。常任理事会 12 回のうち 11 回、評議会 4 回のうち 3 回がオンラインで開催されました。私たちは変えられないものを受け入れる必要がありますね。仕事のほとんどはオンラインでしたが、私たちは多くのことを成し遂げることができたと思います。好きな言葉があります。

真の野心とは、私たちがそれまで思っていたようなものではない。それは、神の恵みのもとに有意義に生き、謙虚に歩みを進めたいと心の奥底から望むことなのだ。　『12のステップと 12 の伝統』165頁

ソブラエティは贈り物であり、自分の手柄ではないことを思い出させてくれるのです。人生を救うメッセージを伝えることが、私のソブラエティの条件なのです。これこそが生きる喜びです。

私の最後の評議会を終えた後、次の WSM 評議員にしっかりと引き継ぐつもりです。元常任理事や元評議員の豊富な経験を忘れないようにしましょう。日本の滞在ビザを 5 年間更新したばかりなので、全国の様々なイベントでお会いできることを楽しみにしています。完璧にはほど遠いですが、日本の最初の外国人常任理事会構成メンバーとして信頼を寄せていただき、このような機会を与えていただいたことに心の奥から感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします。

コーヒーを沸かすこと、苦しむアルコホーリクを病院で介抱してもらうこと、オフィスで AA メッセージを広めること、私たちの生命線であるサービス活動は7つの海に広がっている。それらはみな、行動する AA を象徴している。行動こそがアルコホーリクス・アノニマスにおける魔法の言葉である。スピリチュアリティは物質的な活動によって高められるということを、すべての AA サービスが、日々、証明している。

『The Language of the Heart』 P.131 より。JSO 訳

■第29回評議会を終えて

※新たに分科会議長の役割を担う前期評議員より

■ここまで話すのか、と驚きと感動の連続でした

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

第1分科会議長　中部北陸地域・前期評議員　内田

2 年前、ある委員会に出席した時にその年の評議員から「評議員をやってみませんか？」と声を掛けられました。私の住む中部北陸地域には評議員は前期・後期の他に評議員代理という役割があります。ちょうど家庭の事情を抱えていた頃だったのでそれを理由に断ろうと思いましたが「代理で 1 年一緒にやってみない？」その仲間にそう言ってもらい、不安な気持ちを持ちながらも評議員代理を引き受けました。

1 年後、JSO から年末に送られてくる分厚い 29 回評議会の資料、議題に少しずつ目を通してもなかなか理解できないもどかしさがありましたが、オンラインで勉強会を開いていただき仲間と共に議題を読み進めていくことができ、気持ちが少し軽くなりました。

本年度の第 29 回評議会は 2024 年 2 月 4 日、10 日、11 日とフルオンラインで開催されました。私は第 1 分科会担当でした。そして副議長にも立候補させて頂き、今年の議長のやることをしっかり見習わなくては・・と緊張しながらの評議会がスタートしました。

分科会・全体会議に於いてもひとつひとつの議題に関してとても丁寧に向き合い、さらに熱く真剣な論議が交わされました。ここまで話すのか、と驚きと感動の連続でした。自分の意見が仲間の話を聞くうちに変わってくる・・という経験もありました。

あっという間に過ぎた 3 日間でしたが、どの場面も素晴らしいもので終わってしまう時に寂しい気持ちと心が満たされたという感じがありました。

評議会に関わって下さった評議員メンバーは勿論、常任理事、そして事務局ボランティアの方達・・多くの方達の大きなパワーを戴きました。

余談ではありますが、評議会最終日の夜に地域の代議員オリエンテーションがあり、数日後は有志でやっている概念の分かち合いがあり・・と充実した 2 月を過ごせたことを感謝しています。これから自分の地域・地区・グループに、評議会で議論されたことを持ち帰って伝えることができる様、そして概念やサービスの楽しさを仲間に伝え続えていける様に精一杯努力をしていく所存でおります。ど

うもありがとうございました。

中部北陸の地域集会で理事の方が目を輝かして「評議員は AA メンバーの特権です！！」と伝えてくださったことを今、改めて噛み締めています。

■日本の AA が 49 年存続していることを感じさせてもらいました

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

第2分科会議長　関西地域・前期評議員　岡

29 歳の時に 3 度目の逮捕をきっかけに、依存症の治療を始めたが飲酒の問題は解決しませんでした。33 歳で精神病院に入院し退院後に AA メンバーになりました。私に限っては飲酒の問題は AA でも解決しないと思っていましたが解決しました。個人の回復は順調にすすんでいきました。しかしサービスを始めたのは遅いと思います。お酒がとまって 13 年目ぐらいで代議員をしました。そこから地区委員、地域委員会セクレタリー、地域委員会財務をして今年から評議員となりました。

これまで関西地域委員会構成メンバーでしたが、評議会をオブザーバーで参加をしたことがなく、よくわかっておりませんでした。評議会報告は聞いておりましたが、もう一つ理解できませんでした。今回評議会に参加するにあたって、不安ばかりが先にたっていました。評議会参加にあたり送られてきた資料をすべて読みこんでおく事と言われておりましたが。議題の方は読めましたがすべての資料までは目を通せませんでした。

準備としてはまだまだなところでの参加となりました。この膨大な資料を使ってのオンライン会議となると準備をされた仲間の方が大変ではないかと思いました。細かくスケジュールされて概ね時間通りにすすんでいきました。3 日間はあっという間に終わりました。

準備不足だったのは、過去の評議会の資料を読み込めていなかったことは大きかったと思います。日本の AA が 49 年存続していることを感じさせてもらいました。

伝統 5 のグループの目的にあたり、環境を整えている事だと理解しました。評議会は 29 回ですから 29 年の流れでのゼネラルサービスになっているから、話し合っている事が深くなっている成長しているんだと。

ただゼネラルサービスはかかわってない AA メンバーにとっては見えにくいサービスになっています。これをどう見やすくする事ができるかが私の役割だと思いました。

■評議会は身近な存在でした

＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋－＊－＋

第3分科会議長　東関越地域・前期評議員　永山

昨年評議員に信任いただいてから、ほぼ何の活動もしないまま第 29 回評議会当日を迎えました。

今回の評議会はオンラインでしたので自宅からの参加でしたが、当日の朝はそわそわと落ち着かず、普段より多めにお祈りをし、覚悟を決めて入室ボタンを押しました。事前に JSO からすごい量の資料が届いた際は責任の重さを感じ「自分で大丈夫だろうか？」という不安に駆られましたが、後期評議員を中心に開催いただいた勉強会を通して、かなり不安は緩和されていたのだと思います。

始まってみると顔見知りの仲間が何人もいて、すぐに落ち着きを取り戻すことができました。思っていたよりも身近な内容の議題が多く、遠い存在の人たちが遠い世界の話をしているのでは無いという事が分かりました。今までも評議会は割と近くに存在していたという事を評議員になって初めて実感しました。グループや個人レベルでのサービスでも真剣に取り組んでいる仲間がたくさんいるので、評議会をもっと身近に感じてもらえるように、誰も置いてきぼりにしない、そんな気持ちでやって行けたら良いと思っています。

議事進行に関しては皆真剣そのもので、私も自分なりの意見を述べさせていただきました。私個人はオンライングループがゼネラルサービス機構に参加できる体系作りに関心があり議論が出来たらと思っていましたが、既に第 27 回評議会で常任理事会へ勧告決議されており、評議会後に検討委員会を発足することが共有されました。これからの動向に注目して行きたいと思います。また評議員は 3 つの分科会へ振り分けられますが、私は第 3 分科会へ配属されました。出版財務担当の分科会になります。副議長(現在は議長)に就かせていただく事ができたので、そちらも自分なりに頑張りたいと思います。

今回の評議会参加を通して、私は大きな中の小さな存在として、精一杯話し合いに参加できたことに喜びを感じています。これから大変な事もあると思いますが、不安よりも期待の方が大きいです。

飲んでいた頃はこのまま目覚めなければ良いのにと心から思っていました。まわりから傷つけられているという事ばかりにとらわれていて、自己中心的な考えから抜け出せずにいました。サービスは、飲まない生き方そのものだと思っているので、これからも微力ながら、出来る事は出し惜しみせずやって行けたらと思います。

また、事前に資料等の準備をしてくださった JSO スタッフの皆様。当日議事進行のサポート、書記、テック、その他多くのサポートスタッフの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

編集：ニューズレター編集委員会・発行：ＮＰＯ法人ＡＡ日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F　Tel:03-3590-5377　Fax:03-3590-5419
http://www.aajapan.org　　jso-1@fol.hi-ho.ne.jp
(月～金)10:00～18:00（土・日・祝）休